

経営比較分析表（令和4年度決算）

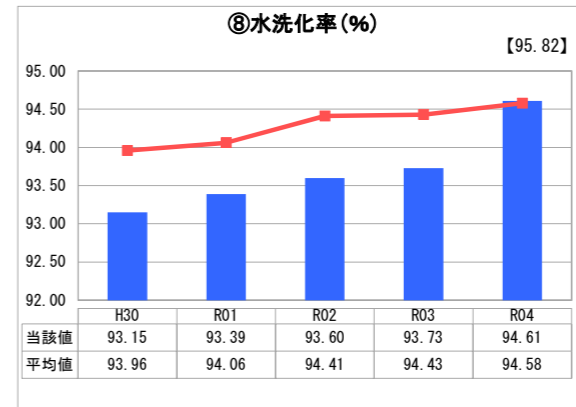
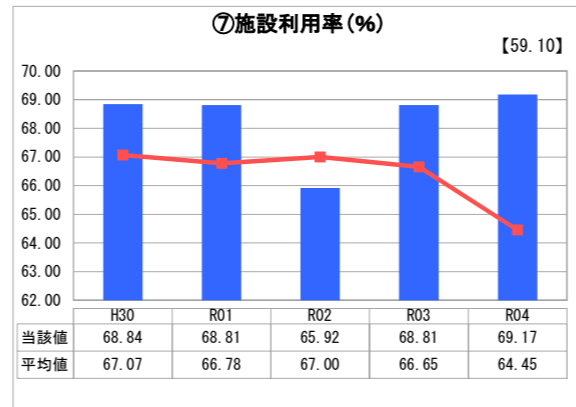
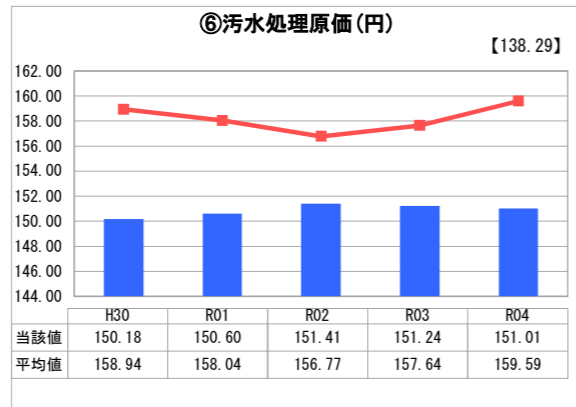
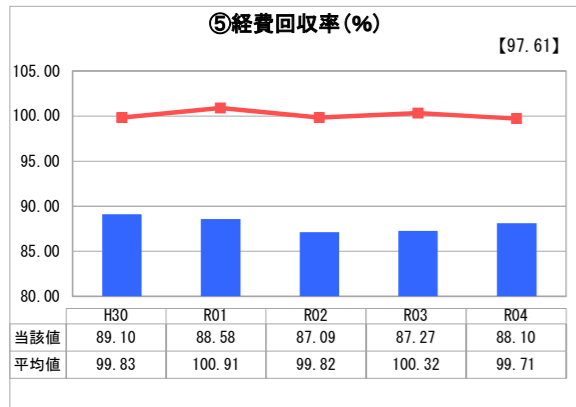
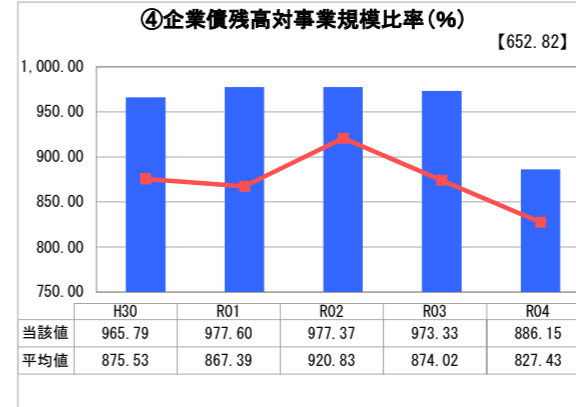
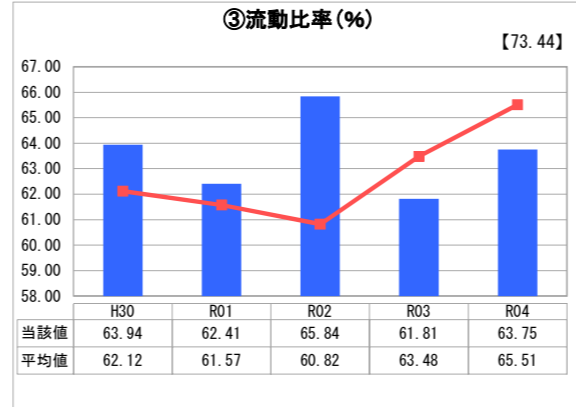
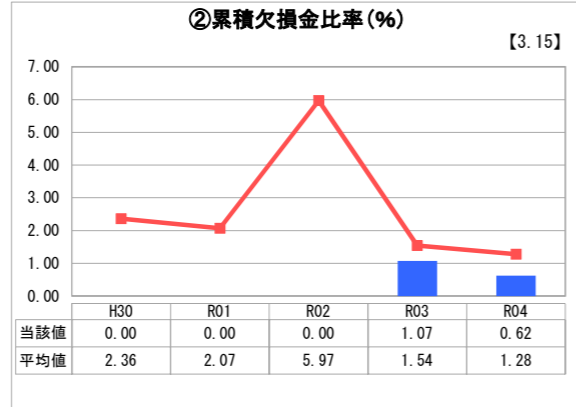
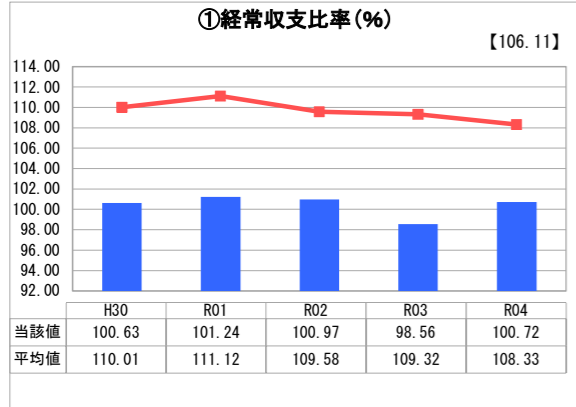
宮崎県 宮崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.13	89.20	76.65	2,386

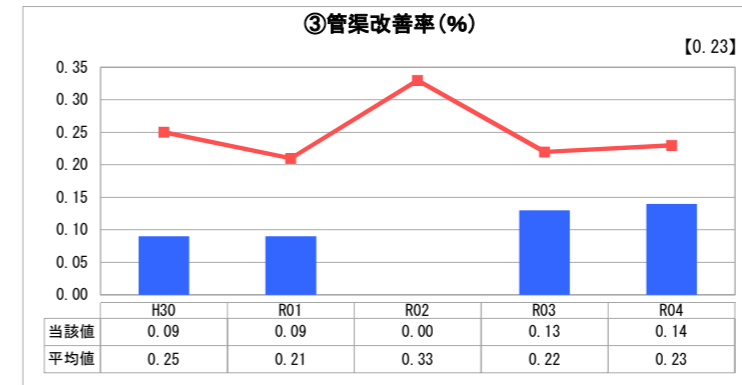
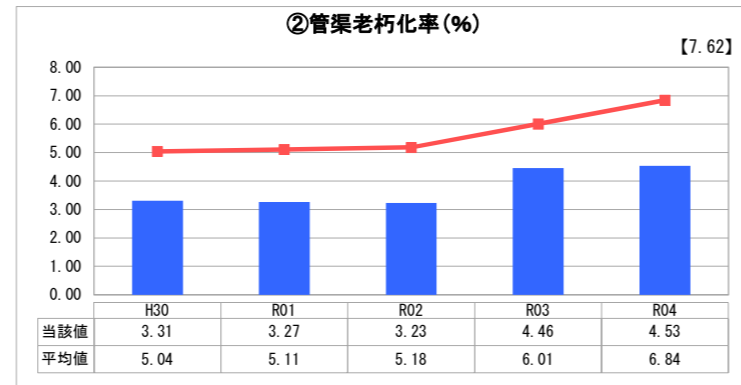
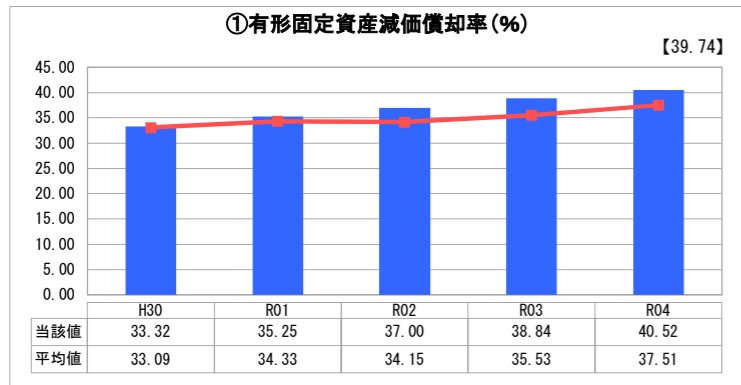
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
399,576	643.57	620.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
354,910	73.56	4,824.77

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

● 経営の健全性について
 ① 「経常収支比率」は、経常収益の増加により100%以上に回復しましたが、③ 「流動比率」は、100%を下回る水準となっており、どちらの比率も類似団体や全国平均よりも低くなっています。
 ④ 「企業債残高対事業規模比率」の低下に努めているところですが、類似団体や全国平均よりも高い状況が続いており、今後も企業債の借入れ額の抑制に取り組んでいく必要があります。
 ⑤ 「経費回収率」は100%を下回り、汚水処理に必要な経費を使用料収入で賄えない状況が続いており、類似団体や全国平均と比べ大幅に低い状況です。
 独立採算制の観点から下水道使用料の見直しが喫緊の課題です。
 ● 効率性について
 ⑥ 「汚水処理原価」については全国平均より高いものの類似団体平均より低くなっています。
 ⑦ 「施設利用率」は一日平均処理量が増加したことにより前年を上回りました。
 ⑧ 「水洗化率」は、水洗化事業の推進により増加し、類似団体や全国平均と同程度の数値に上昇しました。

2. 老朽化の状況について

① 「有形固定資産減価償却率」は、類似団体や全国平均より高く、今後も上昇する見込みです。
 ② 「管渠老朽化率」は類似団体や全国平均を下回っていますが、昭和62年から平成16年にかけて年間50kmを超える管渠の整備を行っており、今後法定耐用年数を経過した管渠が急激に増えることから、上昇していくことが予想されます。
 ③ 「管渠改善率」は、現時点において法定耐用年数の経過に伴った改築更新の必要な管渠が下水道管敷延長に対して少ないことから低い割合となっています。今後、耐用年数を迎えるため、ストックマネジメント計画に基づいた計画的な改築更新に努めます。

全体総括

公共下水道事業は、今後施設の老朽化や法定耐用年数を経過する管渠の増加が見込まれることから、「経営戦略」及び「みやざき水ビジョン2020」を基に、計画的な更新を行ってまいります。
 施設の老朽化が進み、今後更なる更新需要が増加する見込みですが、将来世代への負担の軽減のためにも企業債への依存を軽減するとともに、公営企業原則である独立採算の観点から、健全経営に向け、下水道使用料の見直しについて早急に検討する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。